

あいの広場

1月届出分

●おくやみ申し上げます (敬称略)

(死亡者)	(届出人)	(公民館)
山之口 直 喜 89	和 夫	大 願 寺
柳 田 ク ミ 85	健 次	麓
知 識 ス ミ 94	川平玲子	樋 脇
寺 地 鶴 生 89	橋口克己	下京塚原
船 渡 宗 吉 89	美津子	櫃ヶ迫

善意の灯火 (1月分)

●香典返し (敬称略)

(寄付者)	(公民館)
下大迫 慶 子 (故 春 行)	上下大迫
柳 野 ミトシ (故 静)	川 口
橋 口 克 己 (故 寺地鶴生)	宮之城町

休日在宅医

3月 7日	稲津病院 (外科)	52-3355
	薩摩町立診療所 (内科)	57-0020
14日	薩摩郡医師会病院 (内外)	53-0326
20日	小緑内科 (内科)	52-1676
	市比野温泉病院 (内科) 樋脇町	38-0037
21日	海江田医院 (外科)	53-0006
28日	林田内科 (内科)	53-1177
	木脇医院 (内科) 東郷町	42-0141
4月 4日	木原医院 (外科)	52-2700
	祁答院診療所 (内整理) 祁答院町	55-1118

世帯数と人口

1月31日現在住民基本台帳

世帯数	1,835戸	(前月比 + 0戸)
人 口	4,963人	(前月比 - 6人)
男	2,349人	(前月比 - 4人)
女	2,614人	(前月比 - 2人)



ふるさと いいとこ歩き

小松原古墳群

この古墳発見のきっかけは、昭和48年に紫尾への県道拡張工事中、当時宮之城3年の東条広光君(終野出身)が、土手の扁平石に気づいたことでした。

地主の福岡利己氏の好意もあって、昭和52年12月から調査され、他にも多くの古墳はありますが、7基だけを保存させてもらうことになりました。

以来、永い年月が過ぎたので、周囲の土砂が古墳の内外に入り、原型がうすれてきました。

そこで、1月15日に、シル

バー人材センター会員2人の協力も得て、墳墓内外の土砂を掘り出したので、すばらしい古墳公園になりました。

調査書によりすると、千五

百年ほど昔の墳墓とあり、屈葬(かがんだ)だったようです。やじり(鉄鏝)が出土していますので、主に男性だったのでしょう。

一号墳：…内径120cmの円型。粉状の骨や鉄鏝12本出土。

二号墳：…内径95cmの円型。人頭骨片と鉄鏝8本出土。

三号墳：…地中に、大小百余个の川石を積み、南北14

0cm、幅80cmの石棺的です。地下式土坑でしようか。わりに古い土器片と17cm小刀一振り出土。

四号墳：…内径110cmの円型。人骨片や鉄鏝3本出土。

五号墳：…内径110cmの円型。人骨片と鉄鏝4本出土。

六号墳は、土手に3枚の葺石、七号墳は、側石2枚と葺石8枚が見えています。

これらの出土品は、中央公民館の郷土資料室に保管してあります。鉄鏝の形もいろいろあります。(古墳時代)



小松原古墳群

